

八思巴字漢語私印一顆 — “朱” 印—

吉池孝一

古代文字資料館が管理する元代の私印を紹介する。パスパ文字で“jeu”とある。漢語の姓を記したものであろう。そこでパスパ文字百家姓をみると、“jeu”に相当するものとして“朱、祝、諸、竺”がある。次いで孫慰祖 2001(『唐宋元 私印押記集存』上海書店出版社)によって漢字で姓を記した元代の私印をみると“朱”が散見される。“jeu”を姓であるとしてよいならば“朱”である可能性が高いということであろう。

さて、孫慰祖 2001によってパスパ文字に係る私印をみると、“jeu”印のような形態の私印としては、パスパ文字と漢字を連ねた印文で“gi 収”とするものを5つ(孫慰祖 2001:403-404)、不明(おそらくパスパ文字で漢字1音節を表記)1つ(孫慰祖 2001:453)を納める。“gi 収”の読みであるが、今回紹介した印の“jeu”を姓とみたように、“gi”を“紀、汲、姫、冀”などの姓であるとすることも不可能ではないが、同一表記の“gi 収”が複数あることから、姓ではなく何らかの語としたほうが自然であろう。孫慰祖 2001には“記収”とある。しばらくはこれに従うが、印の形態が何を表現しているかということについて“gi 収”の読みと関連している可能性があり検討を要する。なお、過日『遼上京文物撮英』(2005年、呼和浩特市：遠方出版社)という書を開いたところ、この“gi 収”印が掲載されていた(180頁)。遼上京漢城遺址出土とのことであり、出土地が明らかなパスパ文字の私印の一つとして興味深い。いずれにしてもこの形態の私印としては“gi 収”とするものが多く、“jeu”とするものは管見によるかぎりこの1点のみのものである。



全景



印面



印影

銅印 鼻鈕。縦 22.52mm 横 18.58mm 高 18.66mm。重さ 15.0g